



カラス カン ナ ガワ

烏・神流川だより



ラスカー君

国土交通省 高崎河川国道事務所

カンちゃん

第39号 H19. 3. 26

第19回「烏・神流川クリーン作戦」 《藤岡市地区》 実施

2月25日(日) 8:10より藤岡市地区のクリーン作戦が実施されました。地元住人と各スポーツ連盟、河川愛好会団体、NPO等含め参加者は約1,200人位でした。

管内沿線市町での参加者は一番多い地区となっています。当日の朝は冷え込みの強い日でしたが、実施中は段々気温もあがり、清掃活動がしやすくなり、一般的には河川敷のゴミとは考えられないガスボンベや自転車、バイク家電4品目なども捨てられており、集約結果の集積ゴミは8,600Kgにもなりました。(平成18年度クリーン作戦の実施結果まとめは最後ページ掲載)

今年度のクリーン活動はこれで最後です。参加者の皆様大変お疲れさまでした。

烏川の状況 ①



②



不法投棄ゴミ



③



浄法寺の状況



3/2 (金) 鏑川・鮎川合流地点で「サケの稚魚放流」

鏑川浸水対策事業の工事中にサケの産卵床が確認され、保護を計画していたが昨年12月の出水により流出してしまいました。

そのため県の水産試験場より、「サケの稚魚」をもらい受け地元の各団体に育成していただき河川愛護の啓蒙を図る取り組みをしたものです。



協力いただいた学校

群馬県立藤岡北高等学校
群馬県立万場高等学校
藤岡市立鬼石小学校
藤岡市立目野小学校
藤岡市立平井小学校
サムエル幼稚園・つくしんぼ保育園



先ず藤岡北高校生のお兄さんがお手本を見せまーす。。。



つくしんぼ保育園の園児たち



“パーマーク”はサケの稚魚という印なんだよ。
齊藤さんから『サケ』のお話をききました



高校生の手作り【サケクッキー】
をいただき大喜びの園児たち

【第20回サケの稚魚放流】



感謝状

高崎河川国道事務所さま

サケを育てていただき大変ありがとうございました。
今日鳥川から海へ向かって旅立ちますが、あなたが育ててくれたことを一生忘れないでしょう。
またサケと会える日を楽しみにして下さい。
サケに代わり心から感謝いたします。

19年3月3日

旅立ち時体長 cm

ぼくらのサケを育てる会
社団法人高崎青年会議所

日程

- 9:30 ~ 受付開始
- 9:40 ~ 式典開始
- 主催者 } のご挨拶
- 来賓 }
- 10:00 式典終了
- 10:05 ~ サケと環境の話
- 10:20 ~ サケの稚魚放流
及び河川清掃
- 11:00 清掃終了
- 13:00 事業終了

3月3日（土）高崎市和田橋下河川敷の鳥川右岸にて、第20回サケの稚魚放流事業が開催され、たくさんの方が集まりました。

生命の尊さに理解を深めることと河川愛護思想の啓蒙を目的に始められた「ぼくらのサケを育てる会」は青年会議所のメンバーで結成され、昭和63年から実施されています。、今回も昨年12月11日にサケの卵60,000個が高崎市内の小中学校を中心に配布され、当事務所でも200個、高崎（出）も200個をもらい受け飼育しました。（観察日記は事務所HP掲載されております）

印象的なのは育てた人、場所によって色や大きさが違う事でした。事務所のサケの稚魚は約5cmに成長し、放流時には親心なのか（？）チョット寂しい気持ちになりましたが、元気に大きく育って戻ってきて欲しいものです。

本日の参加者は
約1,000名



高崎出張所で飼育したサケの稚魚

事務所玄関ロビーで飼育したサケの稚魚

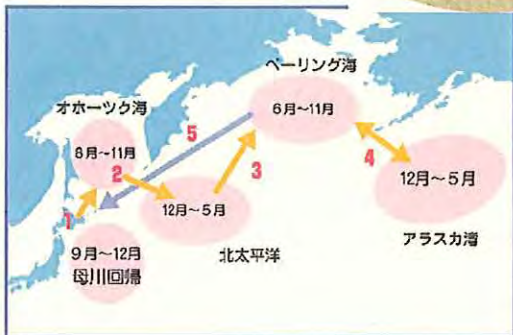


サケの一生

サケは川で生まれ、外洋で長旅を続けながら大きくなり、卵を産むために生まれ故郷の川にもどってきます。

ここでは、日本を出たサケが戻ってくるまでどのような旅をしているのか、利根川を遡上するサケの様子についてのお話をします。

サケの航海

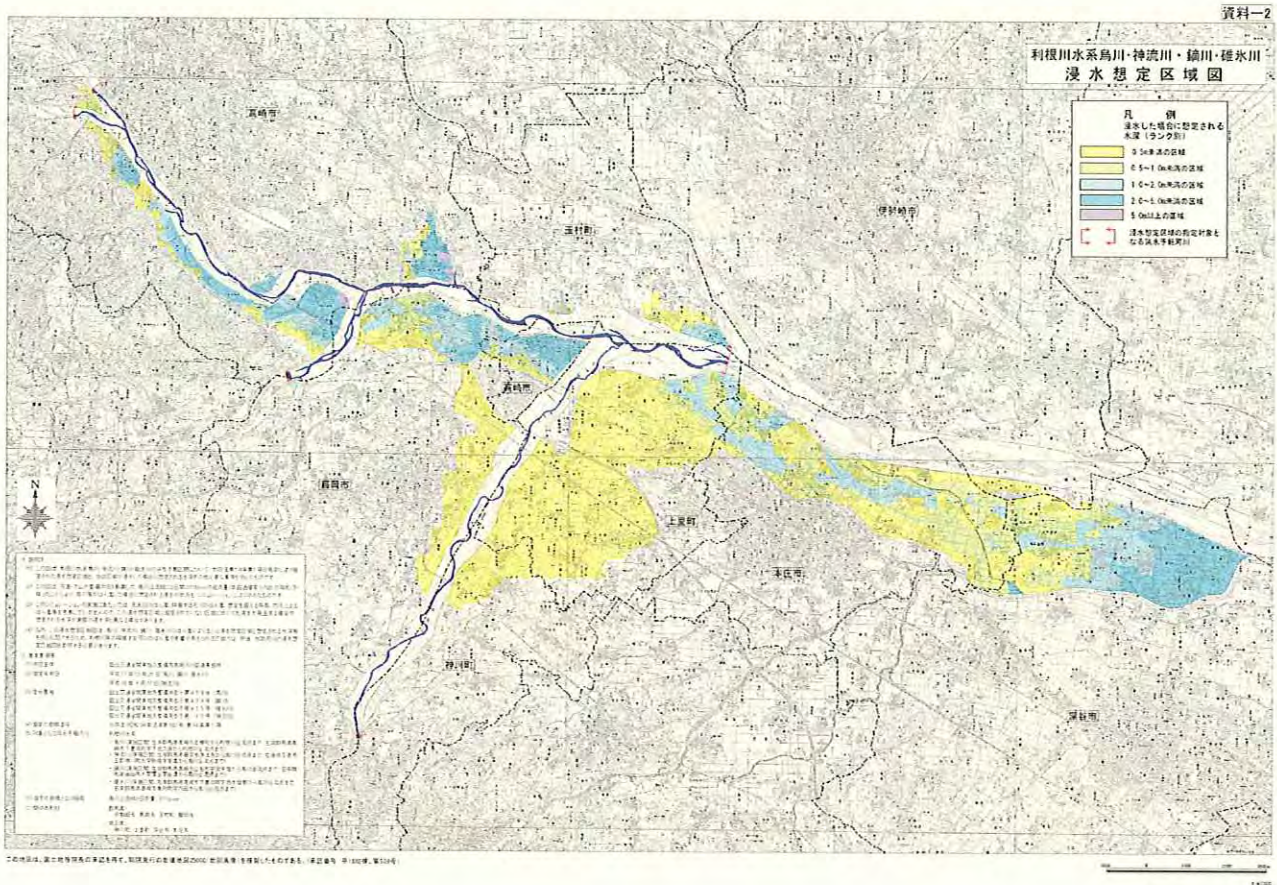


1. 日本で生まれたサケの子供は、春になると海に出て、1~3か月間河口近くの海で生活します。この間に、上手に泳ぐことや、えさのとり方をおぼえ、海水が温かくなってしまう夏の初めまでにはオホーツク海へと向かいます。
2. 秋の終わりまでオホーツク海で過ごしたサケは、北太平洋西部へ移動し、そこで最初の冬を越します。
3. 次の年の春になるとベーリング海に移動し、自分たちより先に生まれ、先にこの海で泳いでいる先輩サケたちと合流して、秋まで過ごします。サケはこの海で泳ぎまわりながらえさ食べ、大きく成長していきます。
4. 11月頃になると、ベーリング海から南に向かってアラスカ湾に入り、ここで冬を越します。そして、その後は、春になったらベーリング海、冬になったらアラスカ湾といった具合に2つの海を行き来し、平均して4歳前後の頃にベーリング海で大人のサケになります。
5. 大人になったサケは、それぞれの生まれた川に帰るため、夏が始まるころベーリング海から千島列島沿いに南下し始めます。生まれてから4年後の9~12月に日本の川に帰るサケが一般的ですが、なかには2年で帰ってくるサケや、逆に8年かけて帰ってくるサケもいます。

神流川浸水想定区域図を指定・公表しました。

～関係市町村における「洪水ハザードマップ」の作成を支援していきます～

神流川が破堤した場合の浸水想定区域及び水深を新たに加えた「利根川水系烏川・神流川・鎗川・碓氷川浸水想定区域図」を平成19年1月11日に指定・公表しました。(烏川・鎗川・碓氷川については、平成17年10月20日に指定・公表しています。)



利根川水系烏川・神流川・鎗川・碓氷川浸水想定区域図

この「浸水想定区域図」は、平成17年5月に改正、7月1日に施行された水防法第14条第1項の規定並びに同条第3項の規定に基づくもので、洪水予報指定河川である烏川、神流川、鎗川及び碓氷川において計画で想定している洪水が発生し、万が一破堤した場合の浸水想定区域及び水深を示しています。

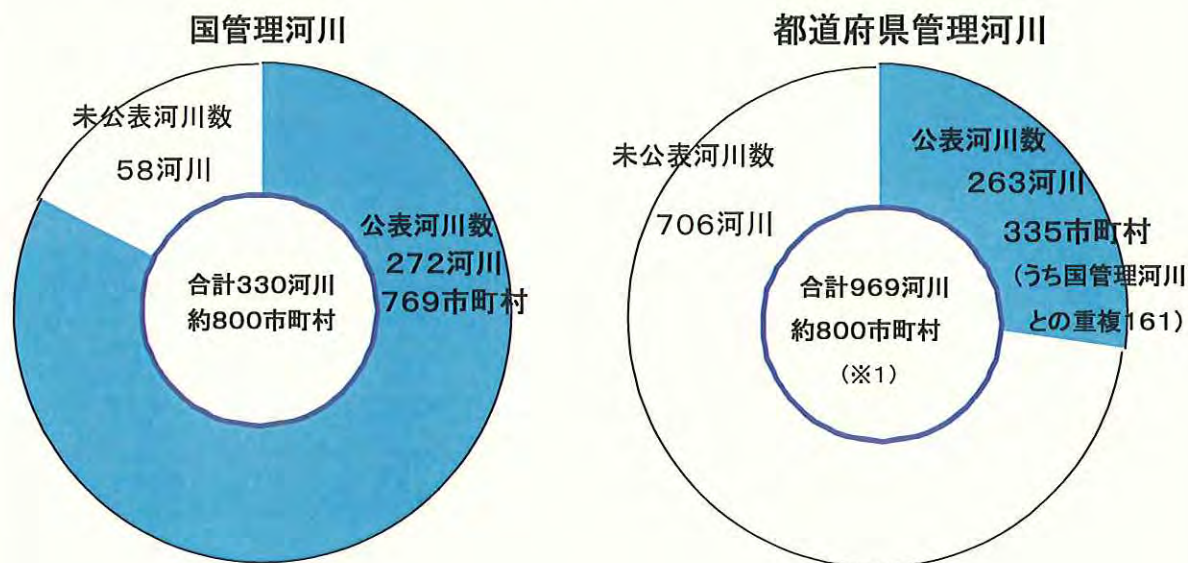
利根川水系烏川・神流川・鎗川・碓氷川の浸水想定区域に含まれる関係市町村は、群馬県、埼玉県の2県8市町村となります。

○群馬県：伊勢崎市、高崎市、玉村町、藤岡市

○埼玉県：神川町、上里町、深谷市、本庄市

全国の浸水想定区域図公表状況

全国では、平成18年12月末日時点で直轄河川で272河川が、補助河川で263河川が浸水想定区域の指定・公表を行っています。



※1：国管理河川との重複約300市町村を含む
(重複を除いた場合500市町村)

～関係市町村における「洪水ハザードマップ」の作成を支援していきます。～

水防法では、浸水想定区域の指定・通知を受けた関係市町村は、住民に対して洪水予報の伝達方法や避難場所等の周知を行うことを求めています。このため、関係市町村は「洪水ハザードマップ」(浸水想定区域図に避難場所等を記載したマップ)等を作成し、洪水時の避難場所等の情報を住民へ周知することが必要となります。高崎河川国道事務所では、関係市町村が進めている「洪水ハザードマップ作成」を平17年1月に設置した災害情報普及支援室を中心に引き続き支援します。

～浸水想定区域図は、下記の場所及びインターネットでも閲覧できます。～

- 国土交通省 高崎河川国道事務所 河川管理課、高崎出張所
- 国土交通省 関東地方整備局 河川部 河川計画課
- 高崎河川国道事務所ホームページ <http://www.ktr.mlit.go.jp/takasaki/>

平成18年度クリーン作戦実施結果

自治体	実施日	参加人員	ゴミ量
高崎市	7月2日(日)	969人	5,000kg
高崎市 (新町支所)	6月23日(金)	130	60
	7月7日(金)	160	40
	7月7日(金)	115	180
小計		405	280
玉村町	7月2日(日)	85	16
	7月9日(日)	544	378
小計		629	394
藤岡市 (神流湖)	7月30日(日)	150	974
神川町	7月23日(日)	350	410
上里町	7月8日(土)	130	70
	7月29日(土)	180	60
小計		310	130
藤岡市 (浄法寺も含む)	H19年 2月25日(日)	1,186 (80)	8,600 (不燃 2,930 可燃 3,380 不法投棄ゴミ 2,290)
合計		3,999 人	15,788kg

過去4年間の実績

年度	参加者 人	ゴミ量 kg
15年度	4,480	8,678
16年度	4,341	15,981
17年度	3,040	8,498
18年度	3,999	15,788

★ 河川愛護の関心が高まり参加者は増加、ゴミ量が減少するのが理想的ですが、今年度も大量のゴミがありました。

発行・問い合わせ先

国土交通省 高崎河川国道事務所 河川管理課
〒370-0841 高崎市栄町6-41
TEL 027-345-6041 FAX 027-45-6091